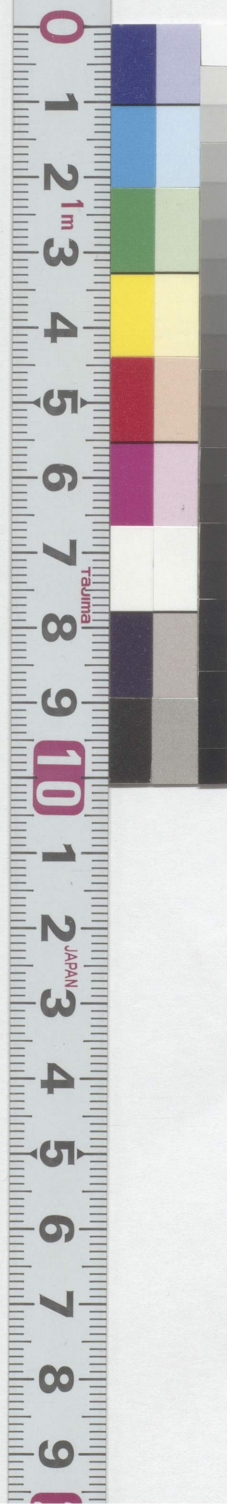


筆算
原理解
代微積拾級譯解

自卷一至卷四

一本



ELEMENTS
OF
ANALYTICAL GEOMETRY
AND OF THE
DIFFERENTIAL AND INTEGRAL
CALCULUS.
—
5TH YEAR OF MEIJI
TOKIO
EDITION.

LOOMIS'S
ANALYTICAL
GEOMETRY.

代數和合及譯解

理原算筆

明治五年
壬申夏鐫

東京

萬青堂發兌

理軒福田先生閱註
治軒福田先生譯解

順而堂藏

ELEMENTS
OF
ANALYTICAL GEOMETRY
AND OF THE
DIFFERENTIAL AND INTEGRAL
CALCULUS.
—
5TH YEAR OF MEIJI
TOKIO
EDITION.

LOOMIS'S
ANALYTICAL
GEOMETRY.

理軒福田先生閱
治軒福田先生譯解

代數和合及
系

明治五年
壬申夏鐫

東京

萬青堂發兌

凡例

此書ハ米利堅ノ人「ロヲミユス」氏著ハス所ニシテ「エナリ
チカール」セヲメトリ」ト号シ測量術ヲ分離シ代數微分積
分種々ノ法術ヲ詳解スルモノナリ英國イレアリ氏上海ニ
於テ之ヲ口譯シ代微積拾級ト名ク今亦其号ニ隨フ更ニ千
八百七十一年出版ノ原書ヲ譯解シ又上海譯本ヲ比較シ其
書ニ遺漏スル所ハ原書ノ如ク之ヲ補載シ家父ノ註解ヲ加
ヘ編輯スト雖凡余ヤ短見不才尚其任ニアラサレハ必ス其
美ヲ盡ササルヲ歎ス遇々孝平神田先生ノ譯稿ヲ借受ケ
以テ潤色ヲ加ヘ速カニ稿ヲ脱ス快然ニ堪ス茲ニ吐露ス



一代數ハ點竄ノ術ナリ符号ノ文字ヲ以テ數字ニ代ヘ其法ヲ施スヲ以テ名トス點竄ハ本邦ノ稱呼ニシテ點ハ消シ去ルナリ竄ハ増シ添ルナリ有用ノ用ヲ補足シ無用ノ用ヲ消去スル意ニシテ文章ヲ點削スルト同旨ヨリシテ此名發レリ故ニ代數ノ名ハ形容ヲ以テシ點竄ノ号ハ實行ヲ以テス即チ異稱ニシテ同技ナリ

一幾何ハ測量ヲ云測量ハ總テ測算計量スルニシテ必ス測天量地ノ業ニ限ルニアラス學者混同スルナカレ

一原書ヲ閱スルニ加減乗除ノ四則及ヒ其他ノ符号ヲ略ス因テ今同氏ノ著述「ゼラメトリ」及ヒ其他一二ノ書ニ

ヨリテ左ニ其符号ヲ譯載シ又此編和解スル所ノ形象ノ稱呼或ハ省文畧字等ヲ概示ス

符号

十 正ナリ加ルナリ

$$A+B \quad \text{ハ} \quad A=B \quad \text{ヲ加ルナリ}$$

一 負ナリ減スナリ

$$a-b \quad \text{ハ} \quad a \quad \text{ノ内} \quad b \quad \text{ヲ減スルナリ}$$

× 乘スルナリ

$$a \times b \quad \text{或ハ} \quad AB \quad \text{ハ共ニ} \quad a=b \quad \text{ヲ乘スルナリ}$$

÷

$$\text{除キ約スルナリ} \quad a \div b \quad \text{或ハ} \quad \frac{A}{B} \quad \text{何レモ} \quad a \quad \text{ヲ以テ} \quad b \quad \text{ヲ約スルナリ}$$

$\sqrt{\quad}$ 開方根ナリ \sqrt{a} ハ a ヲ平方ニ開クナリ

$\sqrt[3]{a}$ ハ a ヲ立方ニ開クナリ

$\sqrt[4]{A-B}$ ハ a ノ内 b ヲ減シ三乗方ニ開クナリニ余ハ之

a^2 同元ノ一乗ナリ a ヲ自乗シタルナリ

a^3 同元ノ再乗ナリ a ヲ再乗シタルナリ

$A^{\frac{1}{2}}$ 平方根ナリ a ヲ平方ニ開キタルナリ之ヲ有分ノ指数ト云

$a^{\frac{1}{3}}$ 立方根ナリ a ヲ立方ニ開キタルナリ同

a^{-1} a ヲ以テ一ヲ約スルナリ之ヲ負整ノ指数ト云

A^{-2} a ノ一乗ヲ以テ一ヲ約スルナリ同

a^{-3} a ノ再乗ヲ以テ一ヲ約スルナリ同

$a^{-\frac{1}{2}}$ a ノ平方根ヲ以テ一ヲ約スルナリ之ヲ負分ノ指数ト云

$a^{-\frac{1}{3}}$ a ノ立方根ヲ以テ一ヲ約スルナリ同

$=$ 左右同等ナリ $A=3$ ハ a ノ数ハ 3 ニ等キナリ

$<$ 左ハ右ヨリ少キナリ $a < b$ ハ a ハ b ヲ少ク

>

左ハ右ヨリ大ナリ

$a > c$ ハ a ハ c ヨリ多ク

○

空ニシテ無ナリ

$x = 0$ ハ x ハ空ナリ

∞

虚ニシテ無究ナリ

$y = \infty$ ハ y ハ無究ニメ虚ナリ

(A-B)

括弧ト譯ス諸数ヲ括リ一致トシ用ユルナリ

(A-B)²

ハ a ノ内 b ヲ減ジ自乗シタルナリ

∴ ∴ ∴

比例式ナリ四率ヲ云
若シ a ト b ノ割合ハ
 c ト x トノ割合ニ等
キト云片ハ下ノ如シ

$a : b :: c : x$

此ノ如ク a ニ就テハ b
ナリ c ニ就テハ x ト例
シ比ハ四元ヲ置テ求ル
 x ヲ得ルヲ比例式ト云

∠

角ナリ

∠ABC

ハ $A B C$ ノ角ヲ云即チ B 角ナリ

sin.

正弦ナリ此編又畧ノ s トス

a 或ハ

$\angle CAB$

共ニ a 角
正弦ナリ

cos.

餘弦ナリ

$\cos E$ 或ハ

$\cos AEB$

共ニ E 角ノ餘弦ナリ

tang.

正切ナリ此編又畧ノ t トス

正弦餘弦ノ例ニ同シ

cot.

餘切ナリ

同

Sec.

正割ナリ

同

COSEC.	餘割ナリ	正弦餘弦ノ例ニ同シ
Ver.	正矢ナリ	同
COV.	餘矢ナリ	同
Chord.	通弦ナリ	同
Log.	對数ナリ	
ℓ	對数ノ底ナリ	
M	對数ノ根ナリ	

$2rc$	弧ナリ	
π	圓周率ナリ	
R	半徑ナリ規線ニ同シ	
d	微分ナリ	
\int	積分ナリ	
某 ^ノ 某 ^ク	此ノ如ク上右ノ隅或ハ上ニノククノ点ヲ加ヘ同類ノ元或ハ圖中同種ノ点ヲ分別ス	
某 ^ノ 某 ^ク	此ノ如ク右ノ下隅ニ一ニ或ハ〇ヲ記スハ同類ノ元ナレ其理前ト少ク異ナルナリ	

弋敬責合及澤羊 九

五

頁天 九

稱呼

正三角

句股形ヲ云

三角

三斜形或ハ圭形之類ヲ云

矩形

直形ヲ云

等辺三角形

三角面ノ形ヲ云

正方 平方

方面自象ヲ云

正方辺

方面ヲ云

辺ヲ稱シテ面ヲ云ハザルナリ面ト云ハハ平積ニ混ズレバナリ

辺

彼ヨリ是迄ノ距離ヲ云

底

下斜ヲ云股モ同シ

垂線

中句ヲ云

鉤直線

句ヲ云

地平線

股ヲ云

對角線

内斜ヲ云或ハ弦モ同シ

根

開方商ナリ平方商ヲ平方根ト云

點

始ノ任指スル所ナリ未タ形ヲナサス

線

点ノ連續シテ彼是ノ間ノ距離ノ形ヲ云

面

線ニ線ノ乘シタルモノニノ平積ナリ

体

面ニ線ノ乘シタルモノニノ立積ナリ

公式

普通ノ原式ヲ云

元

彼是ノ題言ヲ指ス甲乙ヲ甲乙二元ト云

幾何学 幾何学 幾何学

六 明治堂 幾何学

畧字

圓ノ略

辺邊ノ略

点點ノ略

率ノ略

个个ノ略

余餘ノ略

徑徑ノ略

弁霧ノ略

茲ニ遺漏スルモノハ其編次ニ就テ之ヲ示ス尚此編ノ要旨ハ初學ニテ解シ易キヲ專トス故ニ或ハ畧ヲ以テシ或ハ詳ヲ以テシ一例ナラス然レ氏缺繁ノ弊モ亦少ナカラズ看者宜ク訂正アラントテ請フ

辛未冬

福田半誌

代微積拾級譯解總目錄

卷一

代數幾何一

同 二

同 三

同 四

卷二

代數幾何五

同 六

卷三

代數幾何七

同 八

同 九

卷四 一

微分 一

卷五 二

微分 二

同 三

卷六 四

微分 四

同 五

卷七 六

微分 六

同 七

卷八 一

積分 一

卷九 二

積分 二

卷十

附錄代微積設例答式解義

代微積拾級譯解卷一目次

代数幾何一

代数ヲ以テ幾何ヲ推ス

代数幾何二

方程ノ圖ヲ作ル法

代数幾何三

點ヲ論ス 線ヲ論ス

縱橫線ヲ易ル法

代数幾何四

圓ヲ論ス

代微積拾級譯解卷一

原名エナリチカール・セラメトリ

米利堅羅密士撰

大日本

福田理軒 泉閣註
福田半 半譯解

代数幾何一

泉曰ク代数ハ點竈ノ術ナリ幾何ハ測量ヲ云測量ハ計
算ノ總稱ニノ必ス測天量地ノ法ノミニ非ザルナリ

代数ヲ以テ幾何ヲ推ス

測量ノ題理ハ點竈ノ術ニ準テ号ヲ以テ數ニ代ヘ之ヲ求ル
氏ハ簡易ニノ明了タリ代数ノ法此術ニ益アルヲ最モ大ナ
ル故ニ當時此術ヲ論説スルモノ皆テ恆ニ代数ヲ用ユ

測量ノ問題ヲ解キ明スニ點竄術ヲ用ユルヲ甚タ便ニシテ益アリ其目的ニ準シ圖ヲ作ルハ問題ノ全キ諸元ヲ顯ハス設ル所ノ諸元ト求ル所ノ諸元ト俱ニ其内ニ現在ス其法ハ各々文字ノ符号ヲ以テ已ニ知レル諸数及ヒ未タ知ラザル諸数ニ代ヘ題シ以テ之ヲ解説スルナリ圖中種々ノ諸元ノ關係スル所ニ能ク注意シ測量シテ或ハ比例法ヲ施シ其順序ニ準テ之ヲ解キ明シ求ル所ノ元ニ非ザル未タ知ラザル諸元ヲ消去シ精式ヲ作り求ル所ノ数ヲ得ベシ左ノ例ニ準テ之ヲ推代ハ自ラ明ラカナリ

泉曰ク未タ知ラザル諸元XYZノニ件アルハニ式アリ

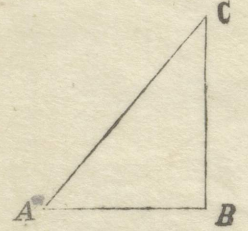
必ス一式ヲ消去スベシ又XYZノ三件アルハ三式ヲ得ル必スニ式ヲ消去シ各精式ヲ得ルナリ

設題

今正三角形句股形也アリ句及ビ股弦ノ和ヲ題シ股ヲ求ム

圖ノ如クABCヲ正三角形トシABノ句ヲ命メ右トシ

BCノ股ヲ命メ右トシACトBCノ股弦ノ和ヲ命メS



トスルハ
即チX句
弦ハS股
ノ理ニ依テ

$$AB^2 + BC^2 = AC^2$$

命メ

$$b^2 + x^2 = (s-x)^2$$

代ヲ

$$= s^2 - 2sx + x^2$$

左右兩辺
ニ在処ノ
ヲ各

$$b^2 = s^2 - 2sx$$

々脱去シ

即チ故

$$2SX = S^2 - b^2$$

$$X = \frac{S^2 - b^2}{2S}$$

此式ニ依テ正三角形ノ股ハ即チ股弦ノ和卑ノ内句卑ヲ減シ餘リ股弦ノ和二倍ヲ以テ除クノ数ナルヲ知ル

故ニ句ヲ三尺トシ股弦ノ和ヲ九尺トス

ル片ハ

即チ

$$\frac{S^2 - b^2}{2S}$$

数ニ還シ

$$\frac{9^2 - 3^2}{2 \times 9}$$

故ニ股ハ四尺ヲ得ル

今三角形

形也斜

アリ底

ナ下

辺及ヒ

中垂線

高ナリ

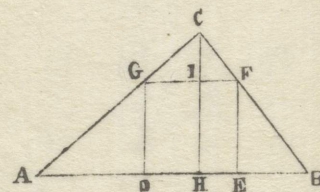
中

題ノ其内ニ

容ル所ノ正方面ヲ求ム

圖ノ如クABCヲ三角形トスABハ底ニメCHハ中垂

線ナリDEFGハ容ル所ノ正方形ナリ底ヲ命メバトシ



中垂線ヲハニ命シ正方面ヲX又GFハA

Xニ命スルバCIハ即チBト平行ス

故ニABCノ大三命比例法ハ首尾

角トGFCノ小三命比例法ハ首尾

角ト其形ヲ相似タ代ノ二率相乗ト

リ因テ比例ノ得ルAB:GF::CH:CI

故ニ容ル所ノ正方面ハ底ト中垂線ト相乗

ノ底ト中垂線ノ和ヲ以テ除ク数ニ等キヲ

知ル因テ底ヲ十二尺トシ中垂線ヲ六尺

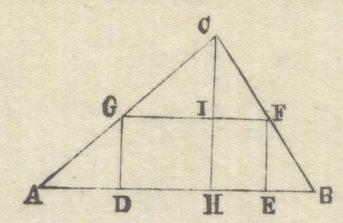
ト為ルバ容ル所ノ正方面四尺ヲ得ル

式

$$bh - bx = hx$$

即

$$x = \frac{bh}{b+h}$$



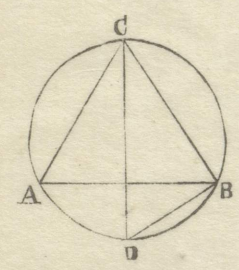
例アリ
ト為ル
片ハ比
Iトn
 $x:y::1:n$

今三角形アリ底ト中垂線ヲ題ノ其内ニ容ル
所ノ矩形ノ各定率割合也或アル長ト高ヲ求ム
圖ノ如クABCノ三角形GDEFヲ容ル所
ノ矩形トシ底ABヲ命ノbトシ中垂線CH
ヲhニ命シ矩形ノ高DGヲxニ命シ其長D
Eヲyニ命シ又假ニxトyトノ定率ヲ設ケ
故 又ABCトGDEFト命x故
FCノ兩三角
形相似タリ故
ニ比例アリ
 $AB:GF::CH:CI$
ハ代ヲ命x故
 $b:y::h:h-x$
 $bh-bx=hy$
 $bh-bx=hn x$

因テ
xヲ
求ム
 $x = \frac{bh}{b+nh}$

故ニ此定率ルヲ一个ト等ク設クル片ハ矩
形ノ長ト高ト相等クノ前題ト相同シ

今圓徑アリ其内ニ容ル所ノ等辺三角形ノ辺ニ角ヲ求ム



苗ノ如クADB Cノ円形CDヲ徑トシABCヲ容ル所
ノ等辺三角形トスCDヲ命ノdトシCBヲxニ命シ又
DBノ線ヲ作ル
片ハCBDハ正
三角形ト成ル故
句股ノ理ニ依テ
 $CB^2 + BD^2 = CD^2$
而メ此Dノ銳角ハ
Aノ銳角ト同シク
六十度ノ角度ヲ受
テ等辺三角ノ矩ナ

レハ D B ハ C

分母

故

即チ知ル容ル

D ノ半ナル

ヲ通

所ノ等辺三角

ヲ知ル因テ其

シ

形ノ辺ハ三ノ

命ヲ代ヘ

$$x^2 + \frac{d^2}{4} = d^2$$

$$x^2 = \frac{3d^2}{4}$$

$$x = \frac{d\sqrt{3}}{2}$$

ノ平方根ノ半

數ニ四徑ヲ衆スルモノニ等シ

今正三角形アリ句b及ヒ股弦ノ

較dヲ題ノ其股若干ヲ求ム

答式

$$\frac{b^2 - d^2}{2d}$$

今正三角形アリ弦h及ヒ句股ノ

定率mトnトノ若キヲ題ノ其

答式

$$\frac{nh}{\sqrt{m^2 + n^2}}$$

股若干ヲ求ム

今矩形ナリ形アリ對角線ナリ斜d及

ヒ其周圍4pヲ題ノ長及ヒ廣各

答式

$$p \pm \sqrt{\frac{d^2}{2} - p^2}$$

々若干ヲ求ム

今矩形アリ對角線十。尺周圍二十八尺長廣各若干ヲ求ム

答 長八尺

廣六尺

式如前題

今四徑アリ規線徑也dヲ題ノ容ル所

答式

$$d\sqrt{3}$$

ノ等辺三角ノ每辺若干ヲ求ム

今正方形アリ其對角線ト一辺トノ較

答式

$$d + d\sqrt{2}$$

方斜ト方差dヲ題ノ辺面若干ヲ求ム

今等辺三角形アリ其内ニ任シ取ル一点ヨリ三辺ニ最近ノ

垂線ノ和若干ヲ題ノ中垂線ヲ求ム

答曰、等ノ和

今正三角アリ其二銳角ヨリ句股

ヲ平分スル二點ニ至ルノ a b

ノ線ヲ題ノ句及ヒ股各若干ヲ

求ム

答式

$$2\sqrt{\frac{4b^2 - a^2}{15}}$$

$$2\sqrt{\frac{4a^2 - b^2}{15}}$$

今等辺三角形アリ其内ニ任セ取

ル一点ヨリ三辺ニ最近ノ垂線

a b c ヲ題ノ其辺若干ヲ求ム

答式

$$\frac{2(a+b+c)}{\sqrt{3}}$$

一之一終

淳兒為直校

代微積拾級譯解卷一之二

米利堅羅密士撰

大日本

福田理軒泉 閱註

福田 半半 譯解

代數幾何二

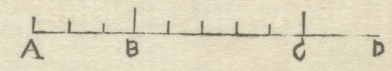
方程圖ヲ作ル法

方程ノ圖ヲ作ルハ幾何ノ量ヲ作ルナリ以テ代數式ノ數ヲ

顯シ量中ノ諸段連屬スルノ理ト式ノ諸項ト相應セシム

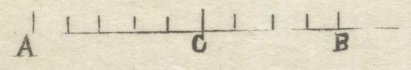
設題

今 $x = a + b$ 此式アリ圖ヲ作り試ムルヲ求ム



法ニ曰クAトBヲ数ニ代ヘ線ヲ頭シ得ルナリ線ヲ
 求ルハ先一定ノ数ヲ取リ或ハ一寸トシ或ハ一本線
 トシ線上ニ於テAヲ本線幾倍ト假ニ定メ其数ヲ測
 リABノ線ヲ得テAノ数ヲ顯シ又Bヲ本線幾倍ト
 假ニ定メ其数ヲ測リBCノ線ヲ得テBノ数ヲ顯ス
 ナリ故ニ $a+b$ 此量ヲ作ルニハ上量ノ如ク任意ニAD
 ノ一線ヲ作り而シテ定メタル本線ヲ以テAニ比ヘ測
 リテAヨリBニ至ルキハAノ数ニ等ク又Bニ比ヘ順ニ
 測リBヨリCニ至ルキハBノ数ニ等クノAC線ハ $a+b$ ノ
 数ヲ頭シ x ニ等キヲ得ル也泉曰ク本線ヲ假ニ一寸ト定メ
 泉曰ク本線三倍トシハ一寸ト定メ

今
 $x=a-b$



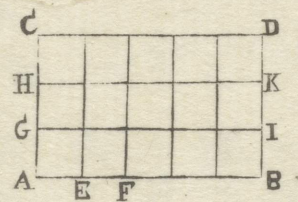
此式アリ圖ヲ作り試ムルヲ求ム

法ニ曰ク任意ニ一線ヲ作り即チAニ比ヘ測リAヨ
 リBニ至レハAノ数ニ等ク又Bニ比ヘ測リBヨリ
 逆ニCニ至レハBノ数ニ等ク得ルキハACノ間ノ
 一段ハ必スABトBCトノ較ニシテ即チ $a-b$ ノ数ヲ
 頭シ x ニ等キヲ得ル泉曰ク假ニ定メテ本線ヲ一寸
 線四倍トスルキハABハ九寸ニBハ四寸ナリ
 其差ACノ線ハ五寸ヲ得テ x ノ数ニ等キヲ得ル
 凡ソ一次諸項ノ式ハ必ス線ヲ頭スヘシ前題ニ準シ

倍トスルキハABハ三寸ニBCハ五寸ト成リ共ニハ
 寸ヲ得テAC線ヲ頭シ即チ x ノ数ニ等キヲ得ルナリ

任意ニ一線ヲ作り正項ハ順測シ負項ハ逆測シ之ヲ得ル

今 $x=ab$ 此式アリ圖ヲ作り試ムルヲ求ム

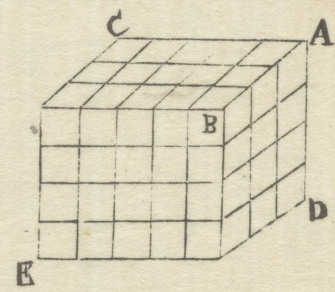


法ニ曰ク先ツ横線ヲ作り a ニ比へ本線幾倍
ヲ測リ A ヨリ B ニ至レハ a ノ数ニ等ク又 A
ヨリ縦線ヲ作り b ニ比シ本線幾倍ヲ測リ C
ニ至レハ b ノ数ニ等ク又 $A C D B$ ノ矩形ヲ
成シ而シテ $A B$ ニ平行ノ $G H$ ノ諸點ヨリ横線
ヲ作り又 $A C$ ニ平行ノ $E F$ ノ諸點ヨリ縦線ヲ作ルハ
 $A E$ ト $E F$ ト或ハ $A G$ ト $G H$ ト皆チ本線ニ等ク下層

ノ $A G I B$ ノ矩形ハ a 个本線ノ平方ナリ又次層 $G H K$
 I ノ矩形モ亦之ニ同ク又 $A C$ 線ノ中皆チ本線若干アル
氏ハ b 線ノ中若干層ノ矩形アリ然ルハ $A C D B$ ノ矩
形ハ b 个ノ本線ニ a 个ノ本線ヲ乗スルモノニシテ若干本
線ノ平方ナレハ即チ ab ノ數ヲ顯シ x ニ等キヲ知ル
凡ソ二元相乗ノ式ハ此題ニ準シ面ヲ以テ之ヲ顯スヘシ

今 $x=abc$ 此式アリ圖ヲ作り試ムルヲ求ム

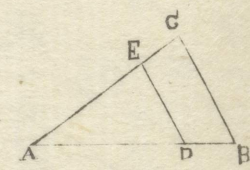
法ニ曰ク a ハ本線幾倍ナルヲ測リ $A B$ 辺トシ b ハ本線
幾倍ナルヲ測リ $A C$ 辺トシ C ハ本線幾倍ナルヲ測リ A



Dノ辺トシ三辺諸本線ノ界点ヲ試ミ諸
平面ヲ作ルキハBC、BD、BEノ三面平
行ノAEノ立方形ヲ成ス此界点ニ準シ
本体ヲ分ツキハ若干本線ノ立方ト成ル
其立方ノ
数ハ全ク $a \times b \times c$ 此形チナリ其理易ク
明了タリ故ニ本体ハ abc
ノ数ヲ顯シ abc ニ等キヲ知ル

九ノ三元相乗ノ式ハ此題ニ準シ体ヲ以テ之ヲ顯スヘシ

今 $x = \frac{c}{ab}$
此式アリ圖ヲ作り試ムルヲ求ム



$x = \frac{c}{ab}$ 此式ヲ
視テ比
例ヲ設
 $c : a :: b : x$ cab ヲ一二三本トシ x
ヲ四本トシ而シテ abc ノ
三数ヲ豫定シA點ヨリ角
度ヲ論セス任意ニABト

ACノ二線ヲ作り而シテAヨリ測リDニ至リCニ等クシ
又Aヨリ測リBニ至リAニ等クシ次
ニAヨリ測リEニ至リ b ニ等クシD
E線ヲ作り此線ニ平行ノB點ヨリB
C線ヲ作ルキハACハ必ス x ニ等ク
相似タル三角形ノ理ニ準シ比例アリ
 $AD : AB :: AE : AC$ 即チ
 $c : a :: b : x$ 故
 $x = \frac{ab}{c}$

仁徳
才
新
證
解
卷一
明治
三
十
年
五
月
三
日
刊

今

$$x = \frac{abc}{de}$$

此式アリ圖ヲ作り試ムルヲ求ム

此式

即

又 dab ラ

故

茲ニ

更テ

$$\frac{ab \times c}{d \times e}$$

チ

$$\frac{ab}{d} \times \frac{c}{e}$$

以テ一二三

率トノ其四

率 m ラ求ム

$$d:a::b:m$$

$$m = \frac{ab}{d}$$

$$\frac{m \times c}{e}$$

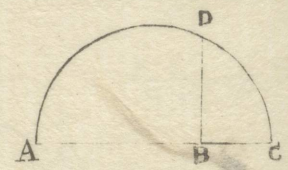
故ニ前題ニ準ノ圖ヲ作ルヘシ

今

$$x = \sqrt{ab}$$

此式アリ圖ヲ作り試ムルヲ求ム

法ニ曰ク \sqrt{ab} ヲ視ルニ a b ノ中 b タリ故ニ任意ニ一直



線ヲ作り線内ニ於テ AB ヲ取り a ノ数ニ等ク
 BC ヲ取テ b ノ数ニ等クシ次ニ a b ノ和 AC
 ヲ全徑トシ ADC ノ半圓ヲ作り又 B 點ヨリ圓
 周 D ニ至リ AC ノ垂線 BD ヲ作ルハ其垂線
 AB BC トニ線ノ中 b タリ故ニ BD ハ即チ

$$\sqrt{ab}$$

ヲ顯シ x ニ等キヲ

故

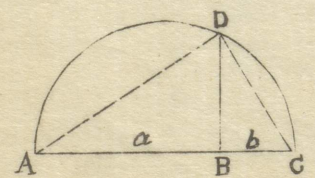
即チ

知ル○泉曰ク此中 b ノ
 解ハ下圖ノ如ク半圓内
 ニ容ル所ノ句股ノ理ニ
 因テ比例ヲ得ルナリ

$$BD:AB::BC:BD$$

$$BD:a::b:BD$$

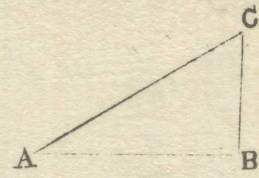
$$BD^2 = ab$$



今 $x = \sqrt{a^2 + b^2}$
 此式アリ圖ヲ作り試ムルヲ求ム

法ニ曰ク A B ノ線ヲ作り A ニ等ク B ヨリ A B ノ垂線 B C ヲ作り b ニ等クノ次ニ A C ノ聯線ヲ作ルハ即チ句股ノ形ヲ得テ此數ヲ顯ス

$\sqrt{a^2 + b^2}$
 テニ依リ
 $AB^2 + BC^2 = AC^2$ 故
 $AC = \sqrt{AB^2 + BC^2}$

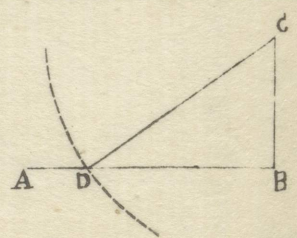


今 $x = \sqrt{a^2 b^2}$
 此式アリ圖ヲ作り試ムルヲ求ム

法ニ曰ク任意ニ A B ノ直線ヲ作り B 点ヨリ A B ノ垂線

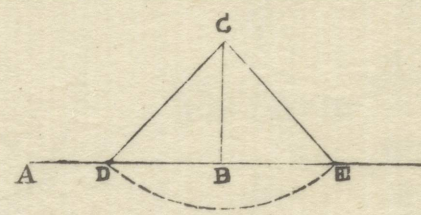
B C ヲ作り b ニ等クシ C ヲ以テ心トシ a ラ半径トシ破弧ヲ画
 キ A B 線ニ D ニ交
 ハルハ B D ノ線
 必ス此數ヲ顯ス

$\sqrt{a^2 - b^2}$
 テニ依リ
 $BD^2 = CD^2 - CB^2$ 故
 $BD^2 = a^2 - b^2$
 $BD = \sqrt{a^2 - b^2}$



今 $x = a \pm \sqrt{a^2 - b^2}$
 此式アリ圖ヲ作り試ムルヲ求ム

法ニ曰ク A ヨリ任意ニ一直線ヲ作り A B ノ分ヲ取り a ニ等ク B 点ヨリ A B ノ垂線 B C ヲ作り b ニ等クシ次ニ



Cヲ以テ心トシaヲ半径トノ弧線ヲ作り直線ノDEミ交ハルキハBD及ヒBE俱ニ此ニ相^レ蓋シB点ヨリ等シ^レ起リ正ナルキハ順測シEニ至リ負ナルキハ逆測シDニ至ルAD及ヒAE皆ナ求ムル所ノ数ヲ顯ス

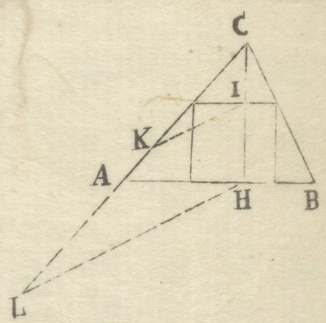
$$AE = AB + BE = a + \sqrt{a^2 - b^2}$$

$$AD = AB - BD = a - \sqrt{a^2 - b^2}$$

即チナルハ二減式起原ノヲ求ル此両数

$$x^2 - 2ax = -b^2$$

今三角形アリ己ニ其底ト中垂線トヲ知テ形内ニ容ル所ノ正方形ノ圖ヲ作り試ムルヲ求ム



前ニ求ムル所^一題^二在ニ正方形ノ辺ヲ列シ bh 故 $b+h$ 一率ノ bh ヲ二三率トシ方辺ヲ四率トシ之ニ因テABCノ三角形ヲ作り亦中垂線C^ニHヲ作り h トシABノ底ヲ b トシC点ヨリAニ向テCKヲ取テ h ニ等クシKAヲ引長シKLヲ成シ b ニ等クシL点ヨリHニ至リ聯線ヲ作り之ニ平行ソKヨリIニ至ルノ線ヲ作ルキハIHハ必ス求ル所ノ正方形ニ等ク相似タル三角形ノ理ニ準シ比例アリ

$$CL : KL :: CH : IH$$

即チ

$$b+h : b :: h : IH$$

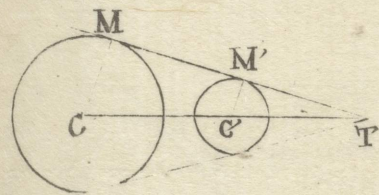
故

$$IH = \frac{bh}{b+h}$$

因テ求ル所ノ正方ノ辺IHヲ頭ス 若シ一卷
第三題矩形ノ圖ヲ作ラント欲セハCKヲ替テ
hニルヲ乗スル数ニ等クシテ即チ得ル

今大小ノ二圓アリ一个ノ平面内ニ在リ二圓ノ公切線ヲ作

リ試ムルヲ求ム



C'ヲ二圓ノ心距トシCC'Tヲ二心ヲ過ル
ノ線トシ若シ公切線MM'ヲ知ル片ハ之ヲ引
長ノ過心線トTニ遇ヒ又二切点ニ於テCM
トC'Mノ二半径ヲ作ル片ハMM'ハ皆ナ直角
タル故ニ相似タル勾股兩形ヲ成シ比例アリ

$$CM:CM':CT:CT$$

C M ヲ ト シ C' M' ヲ ト
トシ C' ヲ ア ト シ 又 C
T ヲ x ト ス ル 片 a 即
ハ必ス C' T ハ

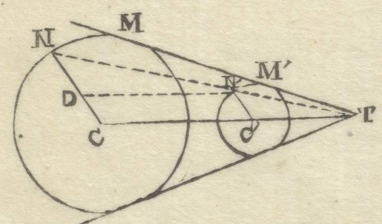
$$r:r':x:x-a$$

而

$$rx-ra=r'a$$

$$x = \frac{ar}{r-r'}$$

因テ r
知ル r-r'
ヲ一本ト
シ r'a ヲ



二三本トシxヲ四本トシ幾何ノ理ニ依テ圖
ヲ作ルノ法ヲ得ルC N ト C' N' トニ平行ノ半
徑ヲ任意ニ作り次ニNN'ノ聯線ヲ作り之ヲ
引長ノ過心線ノTニ遇ヒ此Tヨリ小圓ノ切
線M'及ヒ大圓ノ切線Mニ引長シ試ミニN'ヨ
リTCTト平行ノND線ヲ作ル片ハ必スCC'

線ノ a ニ等クノ ND ハ
即 $N = M$ DN NT C
チ r N T ト相似タル
兩三角形タリ故ニ比例
アリ下ノ如シ

$$DN : DN :: CN : CT$$

ハ 或

$$r : r :: a : CT,$$

$$CT = \frac{ar}{r-n}$$

故ニ其右辺
ハ即チ前段
 x ノ同数タ
リ因テ T 点
ヨリ此圓ノ

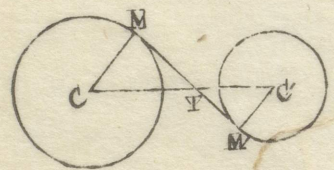
切線ヲ作り之ヲ引長ノモ亦彼圓ノ切線タルナリ

○一系若シ大圓半径 r ヲ常数トシ小圓半径 n 漸々長スル
片ハ $r-n$ 必ス漸々損スレモ分子 ar ハ常数タリ故ニ x ノ
数必ス漸々増スヘシ尚小圓漸々長ノ大圓ト同等ニ至ル
トキハ $r-n$ 相等クノ分母 O ト為リ公切線ト過心線トノ

交点圓周ヲ距ルノ数ハ虚ト為リ x ノ数ハ無究ナリ

○二系若シ n 漸々長ノ r ヨリ大ナルニ至ル片ハ交点 T 必
ス變ノ二圓ノ左ニ在テ x ノ數負ト為ルナリ

○三系二圓ノ間ヲ割テ互ニ相視ルノ公切線ヲ作り CT ヲ



x トシ二半径ヲ r n
トシ兩心相距線ヲ a
トスル片ハ CM MT
 CM MT ト相似タル三
角形タリ比例アリ
作圖ノ法ニ曰ク左圖ノ如ク過心線ノ左右ニ

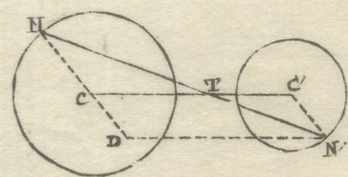
$$CM : CM :: CT : CT$$

ハ 或

$$r : n :: x : a - x$$

$$x = \frac{ar}{r+n}$$

此式モ
亦前例
ニ依テ
圖ヲ作
ルヘシ



於テC NトC' N'ト二平行ノ半径ヲ作り次ニ
 N N'ノ聯線ヲ作り過心線ノTニ交ハリ即チ
 Tヨリ此圖ノ切線ヲ引長スルキハ必ス彼圖
 ノ切線ニ合スヘシ試ミニNCヲ引長シN'点
 ヨリC'ニ平行ノ線ヲ作りDニ合スルキハ
 此NDノ線 或
 ハCニ等クNDハ即チ
 二半径ノ和 $M+N$ ニノN
 CTトND N'ト相似タ
 ル三角形タリ比例アリ
 $ND:DN::NC:CT$ 或
 $M+N:a::r:CT,$
 $CT = \frac{ar}{M+N}$
 此式ノ右辺ハ
 即チ x ノ数也
 故ニ前後兩圖
 ノCT異ナラ
 サルヲ知ル

凡ソ代数式ノ圖ヲ作ルヘキモノ其式ノ諸項必ス元数相等
 ク或ハ俱ニ一次單元云ナレハ線ヲ表シ或ハ俱ニ二次二元相乘云
 ハ面ヲ表シ或ハ俱ニ三次三元連云ハ體ヲ表ス是ヲ同数ノ式
 ト云異類ノ式ノ如キハ相加减スルヲ能ハス故ニ圖ヲ作ル
 ヲ得ガルナリ

或ハ不同類ノ式ニ似テ圖ヲ作ル可キモノモ亦アリ即チ其
 中ノ一元ニ一ヲ以テ代ヘ之ニ因ルニ在リ故ニ九ノ諸項ニ
 乘シ或ハ約スルノ法数或ハ母数俱ニ隱
 レ見レス此ノ如キハ諸項ノ内各一ニ代
 ルノ元ヲ紀セハ同数ノ式ト為ルナリ
 $x = ab + c$
 此式不同類
 ニ似タリ然
 レ正乗数ニ

代ルニ一ヲ
以テスルキ
ハ即チ得ル

$$1x = ab + c1 \quad \text{故}$$

$$x = \frac{ab}{1} + c$$

即チ同類ノ式ト為リ此ノ如
キヲ得ル故ニ其圖ヲ作ルヘ
キナリ

一之二終

桑堅久鎮校

代微積拾級譯解卷一之三

米利堅羅密士撰

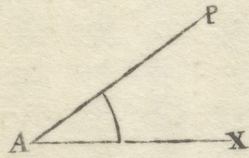
大日本

福田理軒 泉 閱註
福田半 半 譯解

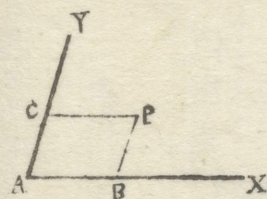
代數幾何三

點ヲ論ス

面内ノ點ヲ顯スニ二法アリ 其一ニ曰ク其設ル所ノ點ト
原点トノ距離及ヒ其方向トヲ用テ之ヲ顯ス
假令ハAヲ原点トシAXヲ原線トスレハ即
チP点ノ方向ヲ定メ知ル若シ亦APノ距離
トPAXノ角アル片ハ即チP点ノ所在ヲ知

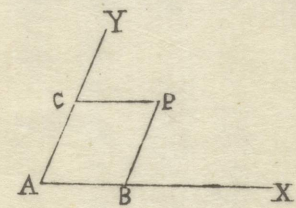


ル原点 A ヲ極ト号ケ PA ノ距ヲ帶徑ト名ケ PAX ノ角ヲ
極角ト号ケ帶徑ハ點ト極トノ距ナリ又極角距ト号ク
其二ニ曰ク相交ハレル兩線ヲ以テ設ル所ノ點ト兩線トノ
距離ヲ知リ以テ其點ノ所在ヲ知ル是ヲ顯点捷法ト云

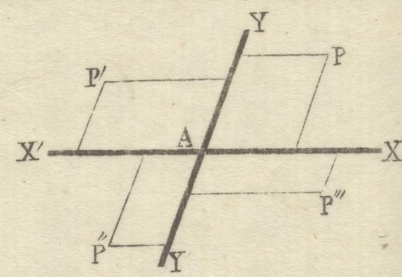


假令ハ AX ト AY ノ二線 A 点ニ相交ハリ此
兩線ノ間ニ設ル所ノ點ヲ P トシ次ニ AX 及
ヒ AY ニ平行ノ此 P 点ヨリ CP 及ヒ BP ヲ
作ルハ此二線ノ數ヲ顯ス即チ P 点ノ所在
ヲ知ル AX ト AY ヲ二軸線ト号ク交点 A
ヲ原点ト号ケ CP ハ AB ト等シ之ヲ横線ト

号ケ BP ハ AC ニ等シ之ヲ縦線ト号ク此二線ヲ合稱ノ縦
横線ト号ク互ニ縦横ヲ為スヘシ二軸線モ亦別テ縦軸横軸
ト云ヒ又ハ合稱ノ縦横軸ト云 YAX ノ角ハ或ハ直或ハ銳
或ハ鈍ヲ用ヒ一定ナシ故ニ二軸或ハ正交シ或ハ斜交スル
モ俱ニ可ナレ其便ニ從フテ恒ニ直角ヲ用ユ
横線ハ代ルニ恒ニ ∞ ヲ用ヒ縦線ハ Y ヲ用ユ故ニ横線ヲ誌
スニハ X ヲ用ヒ縦線ヲ誌スニハ Y ヲ用ユ
点ノ横線ハ恒ニ横軸ト平行ス故ニ其長ハ点ト縦軸トノ距
ノ如ク縦線ハ恒ニ縦軸ト平行ス故ニ其長ハ点ト横軸トノ
距ニ同シ



点ノ縦横線ヲ知ルハ亦其所在ヲ知ルヘシ
 假令ハ点ノ横線ヲ a トシ縦線ヲ b トシ其点
 ノ所在ヲ求ル法ハ先ツ原点 A ヨリ横軸ヲ測
 リ a ノ数ニ比ヘ B 点ニ至リ此 B 点ヨリ縦軸
 ニ平行ノ b ノ数ト同等ノ線ヲ作レハ其端 P
 点ニ至ルナリ此 P 点即チ求ル所ノ点ナリ
 点ノ所在ヲ求ルニ二式ヲ用ユ下ノゴトシ
 $x = a$
 $y = b$
 a, b ハ已ニ知ル数ナリ此二式ヲ點式ト名ク
 a, b ノ二数ヲ知レハ点ノ所在ヲ知ルト雖モ亦其正負ヲ弁
 知セザルベカラズ其法左ノ如ク縦横軸ヲ左ト下ニ引長シ



原点ヲ過キ X, Y ニ至レハ其方向 X 及ヒ Y
 ニ相反ス故ニ A ヨリ X 及ヒ Y ニ向フヲ正
 トシ A ヨリ X 及ヒ Y ニ向フヲ負トス之ヲ
 概畧ノ云ヘハ横線ハ A ヨリ右ニ向フヲ正
 トシ左ニ向フヲ負トス縦線ハ A ヨリ上ニ
 向フヲ正トシ下ニ向フヲ負トス
 YAX ヲ第一角トシ YAX ヲ第二角トシ XAY ヲ第三角
 トシ XAY ヲ第四角トス然ルハ第一角ニテハ ∞ リ共ニ
 正ナリ第二角ニテハ ∞ ハ負ニノリハ正ナリ第三角ニテハ
 ∞ リ共ニ負ナリ第四角ニテハ ∞ ハ正ニノリハ負ナリ

第一角 之內 P 点之式 $x=+a \quad y=+b$

第二角 之內 P 点之式 $x=-a \quad y=+b$

第三角 之內 P 点之式 $x=-a \quad y=-b$

第四角 之內 P 点之式 $x=+a \quad y=-b$

点若クハ横軸ノ内ニ在リハ $y=b$ 變得ル $x=+a$ 此式ハ P 点横軸空ト為リ P 点ノ原点ヲ距ル a ニ等キモノヲ指示ス

点若クハ縦軸ノ内ニ在リハ $x=a$ 變得ル $y=+b$ 此式ハ P 点縦軸空ト為リ P 点ノ原点ヲ距ル b ニ等キモノヲ指示ス

点若クハ原点 A ト所在同キハハ縦横ノ線空ニノ縦横軸内ノ公点ト為ル其式 $x=0 \quad y=0$

設題

今 $x=+4 \quad y=-3$ 此式アリ其点ノ所在ヲ求ム

今 $x=-2 \quad y=+7$ 此式アリ其点ノ所在ヲ求ム

今 $x=0 \quad y=-5$ 此式アリ其点ノ所在ヲ求ム

今 $x=-8 \quad y=0$ 此式アリ其点ノ所在ヲ求ム

線ヲ論ス

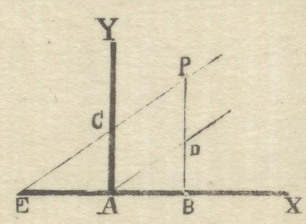
凡ソ線ハ点ノ相聯ナルモノナリ故ニ又縦横ノ線ヲ以テ之ヲ頭シ而ノ線ノ形ヲ成スヲ表ス

第一款 直角縦横軸ノ線式

$$y = ax + b$$

此式中 x ト y トヲ線内

諸点ノ縦横線トス a ヲ線ト横軸トノ交角ノ正切トス b ヲ線ト縦軸ト相交ハル所ノ点ト原点トノ距離トス故ニ a b 俱ニ或ハ正或ハ負ニシテ一定ナラス
左畧ノ如ク A ハ縦横軸ノ原点ナリ AX ト AY ヲ正交セル縦横ノ二軸トス次ニ任意ニ求ル所 E C ノ線ヲ作り



此線内ニ P 点ヲ定メ此点ヨリ AX ノ垂線 P B ヲ作ルキハ此線即チ P 点ノ縦線タリ A B ハ其横線タリ又 A 点ヨリ C P ニ平行シテ A D 線ヲ作り P B 線ノ D 点ニ交ハルヲ得ル

各ヲ命シ半径
ヲ R トシ正切
ヲ a トシ三角
術ニ準リ比例
ヲ得ル

$$AB = x \quad BP = y$$

$$\text{PEX} = \text{DAX} = a$$

$$AC = DP = b$$

$$R : AB :: \text{DAX} : BD$$

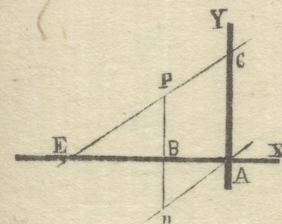
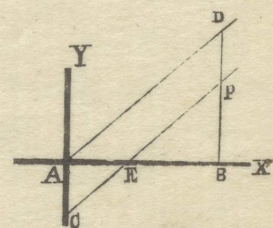
$$R : x :: a : BD$$

半径ヲ一トシ

$$BD = ax$$

$$BP = BD + DP$$

$$y = ax + b$$



故ニ α 及ヒ α モ皆正ニシテ B

P ハ B D ニ D P ヲ加ルモノニ

等シ若シ C P ノ線縦軸ノ点ニ

交ルハ原点 A ノ下ニ在リハ

ノ数負ト成リ即チ上圖ノ如シ

若シ亦 P 点原点 A ノ左ニ在テ α ハ

負ニシテ B A D ノ角ハ反テ正ナルハ

ハ其正切 α ハ正ニシテ B D 線ハ負ト

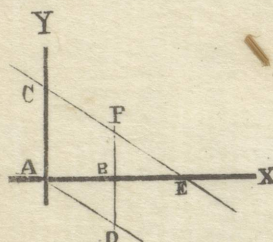
為リ横軸ノ下ニ在リ上圖ノ如シ

泉曰ク此題ハ原点ノ左右上下ニヨリ正負

$$BP = BD - DP$$

$$y = ax - b$$

$$BP = -BD + DP$$



ヲ明辨スル為ニ設ルト雖モ公式ニ於テハ必ス原点ヨリ
右ニ P 点ヲ取テ定メトス即チ第一章及ヒ次ノ設問第二
第四ノ題ニ就テ考證スヘシ偉烈孟氏口譯ノ書ニハ此
圖ヲ変シ左右上下銳鈍角ノ正負ヲ辨論スルモ其說穩當
ナラス故ニ今千八百七十一年ノ原書ニ就テ之ヲ校正ス

若シ亦 P 点原点 A ノ右ニ在テ

α ハ正ナルモ D A X ノ角ハ余

角ニシテ其正切 α 負トナルハ

αx 及ヒ B D ノ線負ニシテ横軸ノ

下ニ在テ下ノ式ヲ得ル

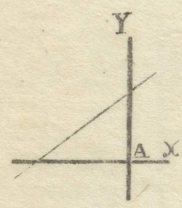
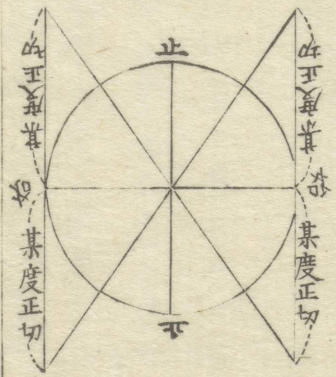
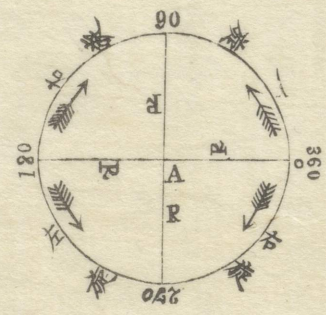
$$R:AB::tDAX:BD$$

$$y = -ax + b$$

凡ソCPノ線ハ縱横ノ軸ニ交リ銳鈍ノ角ヲ為ス其交角ハ恆ニ横軸ノ右辺ヨリ左旋ノ其度ヲ取ル故ニ或ハ銳角ヲ為シ或ハ鈍角ヲ為ス其正切ノ如キハ各々正負ヲ異ニ尚才縱横二軸ノ上下左右ニヨリ其勢ヒ異ニノ四題アリ左ノ如シ各々式中 ab ノ二元ヲ以テ之ヲ顯スナリ

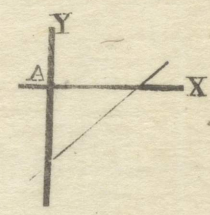
泉曰ク正切ハ角ノ銳鈍ノミナラス其弧度ノ多少順逆ニヨリ正負ヲ異ニス左ノ圖解ニヨリテ辨スヘシ○度ヲ始メトシ左旋順行ノ九十度ニ至ルノ間ヲ正トシ百八十度ヲ始メトシ右旋逆行ノ九十度ニ至ルヲ負トス又百八十度ヲ始メトシ左旋順行ノ二百七十度ニ至ル

ヲ正トス又○度ヲ始メトシ右旋逆行ノ二百七十度ニ至ルノ間ヲ負トス各々左旋ヲ正トシ右旋ヲ負トス



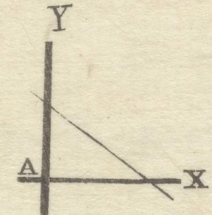
一設ル線ノ横軸ニ交ル原点ノ左ニ在テ縱軸ニ交ル原点ノ上ニ在キハ ab 皆十正ニメ下ノ式ヲ得ル

$$y = +ax + b$$



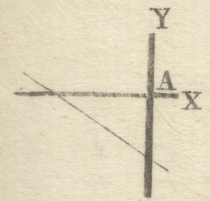
二設ル線ノ横軸ニ交ル原点ノ右ニ在テ縦軸ニ交ル原点ノ下ニ在ルハ a ハ正ニシテ b ハ負ト為ル下ノ如シ

$$y = -ax - b$$



三設ル線ノ横軸ニ交ル原点ノ右ニ在リ縦軸ニ交ル原点ノ上ニ在ルハ a ハ負ニシテ b ハ正ト為ル下ノ如シ

$$y = -ax + b$$



四設ル線ノ横軸ニ交ル原点ノ左ニ在テ縦軸ニ交ル原点ノ下ニ在ルハ a b 皆ナ負ト為ル下ノ如シ

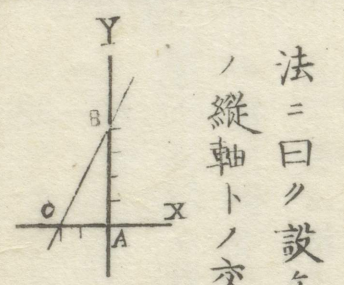
$$y = -ax - b$$

又設ル線ノ原点 A ニ過ルハ必ス b 0 ニ等シノ下ノ式ヲ得ル

$$y = ax$$

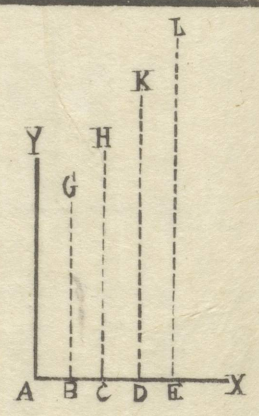
設題

今 $y = 2x + 4$ 此式アリ線ヲ作ルヲ求ム



法ニ曰ク設ケテ $x = 0$ トスルハ y ノ同数ハ $y = 4$ ニシテ線ノ縦軸トノ交点ヲ顯ス蓋シ此点ノ外更ニ横線ノ O ニ等キ点ナシ先ツ縦横ノ軸 AY ト AX ヲ作リ A ヨリ度リ B ニ至リテ 4 ニ等キハ求ル所ノ線内ノ B 点トス又設ケテ $y = 0$

トスル片ハ x ナリ故ニ線ト横軸ノ交点ヲ顯
 ノ同数ハ即チ $2x = -4$ $x = -2$ ス蓋シ此点外更ニ縦線ノ O ニ
 等キ点無シ故ニ A ヨリ度リ逆ニ 此數負ナル故ニ C ニ至
 リ 2 ニ等キ片ハ求ル所ノ線内ノ C 点トス乃チ BC ノ二
 点ヲ過キ線ヲ作り即チ此式ノ線ヲ得ルナリ
 一元ノ同数ヲ定ル片ハ其式ニ依テ餘
 ノ一元ノ同数ヲ知ルベシ法ノ如ク x $y = 6$ $y = 8$ $y = 10$ $y = 12$
 y ノ二元諸同数ヲ取り本線諸点ノ方 $x = 1$ $x = 2$ $x = 3$ $x = 4$
 位ヲ得ヘシ諸同数ヲ取ル下ノ如シ $x = 1$ $x = 2$ $x = 3$ $x = 4$
 圖ヲ以テ之ヲ明カニス AX ト AY ト正交ノ二軸ヲ作り



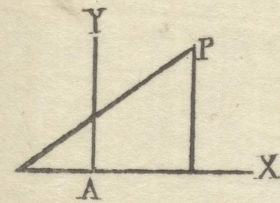
二同数 $x = 1$ $y = 6$ 之ニ依テ横軸ノ内
 ニ於テ 1 ニ等キ AB ヲ取り而ノ 6
 ニ等キ BG ノ垂線ヲ作ル片ハ G ハ
 線ノ第一点タリ又 $x = 2$ $y = 8$ 之ニ依
 テ 2 ニ等キ AC ヲ取り而ノ 8 ニ等キ CH ノ垂線ヲ作ル
 片ハ H ハ線ノ第二点タリ之ニ準シ K 或ハ L ノ二点ヲ取
 ル片ハ必ス G, H, K, L ノ諸点ヲ過テ其式ノ線ヲ得ル

今下圖ノ如キ七

- 式アリ各々線
 ヲ作ルヲ求ム
- $y = 2x + 3$
 - $y = 3x - 7$
 - $y = -x + 2$
 - $y = -2x - 5$
 - $y = 3x$
 - $y = 5$
 - $y = -2$

$$y - y_1 = a(x - x_1)$$

式中 x_1, y_1 ハ点ノ縦横線タリ x, y ハ線内任意ノ一点縦横線タリ Q ハ線ト横軸トノ交角ノ正切ナリ凡ソ知ル所ノ諸点ノ縦横線ハ x_1, y_1, x_2, y_2 等ヲ以テ之ヲ示スフ例トス号ノ第一ノ x_1, y_1 第二ノ x_2, y_2 第三ノ x_3, y_3 ト云餘ハ之ニ倣ヘ



圖ノ如ク P ヲ設ル所ノ点トシ其縦横線ヲ命ノ x_1, y_1 トス而ルハ線内諸点ノ公式ハ
 $y = ax + b$
 トス若シ x y ヲ變シ x_2, y_2 ヲトスレハ其式ハ即チ
 $y = ax + b$
 前式ノ四元ハ皆ナ未タ知レサル数ナリ後式

ノ x, y ハ已知ル数ナリ故ニ兩式相減ノ一ノ未

$$y = ax + b$$

$$y_1 = ax_1 + b$$

$$y - y_1 = a(x - x_1)$$

即チ款ト合ス然ルニ a ノ正切ナルモノハ線ノ方向ヲ定ル所以ナリ其正切ハ未タ知

サル数ナリ故ニ P 点ヲ過テ無數ノ直線ヲ作ラハ線ト合スヘシ Q ハ線ト横軸トノ交角ノ正切ナレハ此角

$$y - y_1 = a(x - x_1)$$

設題

今点ノ横線ヲ五トシ縦線ヲ三トスルアリ此点ヲ過ルノ線ト横軸トノ交角ノ正切ヲ二トス其線ノ方向ヲ求ム

第四款

凡ノ直線設

ル所ノ二点

ヲ過ルキハ

其式ハ即チ

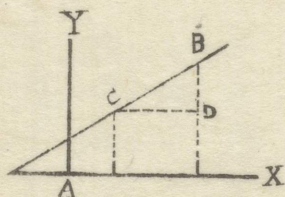
$$y - y' = \frac{y - y'}{x - x'} (x - x')$$

トス式中 x, y ハ第一点ノ

縦横線ナリ x', y' ハ第二点

ノ縦横線ナリ x, y ハ線内

諸点ノ公縦横線ナリ



此ノ如ク一二三ノ式ヲ得ル第一式ハ四元俱ニ未タ知サ

ス線内

諸点ノ

公式ヲ

$$y = ax + b$$

$$y = ax + b$$

$$y = ax + b$$

$$y = ax + b$$

$$y = ax + b$$

$$y = ax + b$$

$$y = ax + b$$

トス再ヒ

x, y ニ変

スレハ

ル数ナリ第二三ノ兩式ハ皆ナ二元己ニ知レル数ナリ故
ニ三式互ニ對合ノ一式トスルキハ其未タ知サル二数ヲ

消去スヘシ其

法先ツ第二式

ヲ以テ第一式

ヲ減シ即チ

$$y - y' = a(x - x')$$

トス又第三

式ヲ以テ第

二式ヲ減シ

$$y - y' = a(x - x')$$

$$a = \frac{y - y'}{x - x'}$$

テ第四式
ノ a ニ代
ルトキハ

即チ BC ノ二点ヲ過ル線ノ式ナリ

又

是ハ

等ク

$$a =$$

$$a =$$

$$x - x' = CD$$

$$y - y' = BD$$

故

$$\frac{y - y'}{x - x'} = \frac{BD}{CD}$$

即チ之ハ

BCD ノ

正切ナリ

若シ亦設ル所
ノ直線ノ原点
ヲ過ル片ハ

$$x=0 \quad y=0$$

此ノ如
シ而ノ
其式ハ

$$y = \frac{x}{y} x$$

即チ原点及ヒ設ル
所ノB点ヲ過ル線
ノ式ナリ

設題

今二点アリ其縦

横線第一点ハ

$$x=7$$

$$y=4$$

第二
点ハ

$$x=5$$

$$y=3$$

トス二点ヲ過
ル線ノ式及ヒ

線ト横軸トノ交角ヲ求ム

今二点アリ其縦

横線第一点ハ

$$x=2$$

$$y=3$$

第二
点ハ

$$x=4$$

$$y=5$$

ナリ二点ヲ過
ル線ノ式及ヒ

線ト横軸トノ交角ヲ求ム

第五款

凡ソ二

点相距

ヲ求ル

線式

$$\sqrt{(x-x')^2 + (y-y')^2}$$

ナリ x, y ヲ第一点ノ縦横線ト
シ x', y' ヲ第二点ノ縦横線トス

圖ノ如クBCヲ設ル所ノ二点トシ其縦横線ハB点ハ x

y トシC点ハ x' y' トス試ミニAXト平行ノ

CD線ヲ

作ル片ハ

二点相距

線BCハ

$$\sqrt{CD^2 + BD^2}$$

ニ等ニ之

$$CD = x - x'$$

$$BD = y - y'$$

故ニB
C相距
線ノ式
ハ即チ

$$\sqrt{(x-x')^2 + (y-y')^2}$$

第六款

九ツ二直線交

角ノ正切式ハ

$$\frac{a'-a}{1+aa'}$$

トス $a a'$ ヲ二線ト横軸
トノ交角ノ二正切トス

圖ノ如ク $B C$ ト $D E$ ハ設ル所ノ二線

トスル片ハ

ニノ P 点ニ交ル假令ハ $D E$ 線ノ式ヲ

$$y = ax - b$$

$B C$ 線ノ式

$$y = ax + b$$

ナリ a ハ $P E X$ 角ノ正切タリ a' ハ

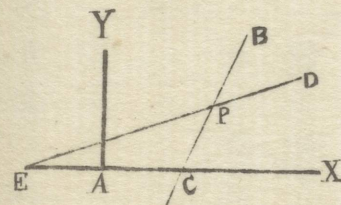
$P C X$ 角ノ正切ナリ $P C X$ ノ角ハ

$P C E$ ノ外角ナリ故ニ $C P E$ ト $C E P$ ノ二

角ノ和ニ等ク又 $C P E$ ノ角ハ $P C X$ ト $P E$

X ト二角ノ較ニ等シ仍テ $P E X$ ノ角ヲ命メ

α トシ $P C X$ ノ角ヲ命メ α' トスル片ハ即チ



故

$$EPC = PCX - PEX = \alpha' - \alpha$$

之

$${}_t EPC = {}_t (PCX - PEX) = {}_t (\alpha' - \alpha)$$

変

ヲ

$${}_t (\alpha' - \alpha) = \frac{{}_t \alpha' - {}_t \alpha}{1 + {}_t \alpha' {}_t \alpha}$$

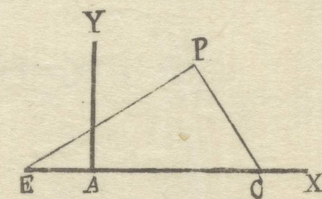
仍

$${}_t EPC = \frac{a' - a}{1 + aa'}$$

此ノ如シ

泉曰ク此正切変化ノ
解及ヒ角ノ和較ヲ得
ル圖解ハ余カ閱ス所
ノ筆算通書曲ノ卷ニ
詳ニス

若シ二線正交ノ直角トナレハ其正切ハ大ニノ無究トナ
ル必
ス
 $\frac{a'-a}{1+aa'}$ 是モ亦無究ナリ
故ニ其分母ハ
 $1+aa'$ 必ス〇ト 而 $\frac{a'}{1}$
ナル故ニ $aa' = -1$ ノ $a = -\frac{1}{a'}$



PCEノ外角
ニノ其正切ハ
相同ク正負ハ
異ナリ又半径
ハ一ナリ故ニ

PCトPEノ二線正交ノ直角ヲ成スハ必
ス三角術ヲ以テ之
ヲ明カニスPCE
ノ角ハ即チPEC
ノ餘角タリ故ニ

$t \times \cot t = R^2$
此解測
量新式
ニ出ス

$tPCE tPEC = R^2$
而ノ
角Xノ
C

即チ設ル所ノ点ヲ過ル線ハ他ノ一線ノ垂線トナルヘシ

第七款
凡ソ直線ノ斜交
ノ二軸ヲ以テ準
トスルハ其式
 $y = ax + b$
弦ノ比例数ナリ

圖ノ如クAハ原点ナリAXトAYハ斜交ノ
二軸ナリPCハ式線タリ線内ニ於テ任意ニ
P点ヲ取りAYト平行ノPB線ヲ作りP点
ノ縦線トシABヲP点ノ横線トスAヨリC
Pト平行ノAD線ヲ作りBPノDニ會ス即
チPEXノ角及ヒDAXノ角ヲ命メ又トシ

即チ設ル所ノ点ヲ過ル線ハ他ノ一線ノ垂線トナルヘシ

第七款
凡ソ直線ノ斜交
ノ二軸ヲ以テ準
トスルハ其式
 $y = ax + b$
弦ノ比例数ナリ

圖ノ如クAハ原点ナリAXトAYハ斜交ノ
二軸ナリPCハ式線タリ線内ニ於テ任意ニ
P点ヲ取りAYト平行ノPB線ヲ作りP点
ノ縦線トシABヲP点ノ横線トスAヨリC
Pト平行ノAD線ヲ作りBPノDニ會ス即
チPEXノ角及ヒDAXノ角ヲ命メ又トシ

即チ設ル所ノ点ヲ過ル線ハ他ノ一線ノ垂線トナルヘシ

第七款

凡ソ直線ノ斜交
ノ二軸ヲ以テ準
トスルハ其式
 $y = ax + b$
弦ノ比例数ナリ

圖ノ如クAハ原点ナリAXトAYハ斜交ノ

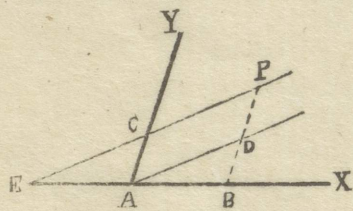
二軸ナリPCハ式線タリ線内ニ於テ任意ニ

P点ヲ取りAYト平行ノPB線ヲ作りP点

ノ縦線トシABヲP点ノ横線トスAヨリC

Pト平行ノAD線ヲ作りBPノDニ會ス即

チPEXノ角及ヒDAXノ角ヲ命メ又トシ



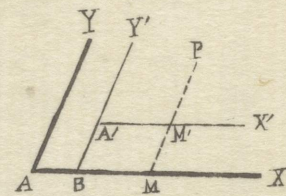
YAXノ角ヲ β ニ命シ而シテPBハYAト平行ス故ニA
 DBトDAYト其角相等クノ $\beta - a$ ナリ又ABヲ x ニ命
 シPBヲ y ニ命シ
 AC、DPヲ b トシ
 三角ノ比例ヲ施ス
 泉云此解筆算通
 書ノ西卷ニ在リ
 $AB = x \quad BP = y$
 $AC = DP = b$
 $BD : AB :: a : (\beta - a)$
 $BD : x :: a : (\beta - a)$
 $BD = x \frac{a}{\beta - a}$
 $BP = BD + DP$
 $y = x \frac{a}{\beta - a} + b$
 此式
 中ノ $\frac{a}{\beta - a}$ 之ヲ a ニ
 代ルハ
 $y = ax + b$
 即チ第一款ノ式ニ同シ而
 メ代ル所ノ a ハ同カラス
 縦横ノ軸ヲ易ル法

凡ソ線ハ二軸ニ準ノ既ニ式ヲ得テ之ヲ任意ニ他ノ二軸ニ
 易ヘ而シテ其式ヲ変スヘシ其法ニアリ○原点ヲ易テ二軸ノ
 方向ヲ易サルヲ一トス○二軸ノ方向ヲ易テ原点ヲ易ザル
 ヲ二トス○原点及ヒ二軸ノ方向俱ニ易ルヲ三トス

第八款

凡ソ線ハ二軸ニ準シ式ヲ
 得ル其原点ヲ易ヘ其二軸
 ノ方向ヲ易サルハ其法
 $x = a + x'$
 $y = b + y'$
 点ニ準スル
 縦横線ナリ

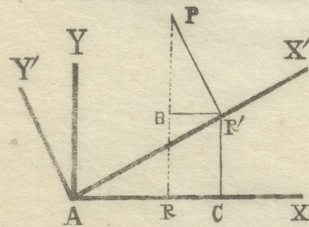
左圖ノ如クAXトAYヲ舊二軸トシAXトAYヲ新二
 軸トス設ル所ノ線皆ナ之ニ準スルナリ新原点ノ縦横線
 ABトBAヲ命ノ a トシ任意ニ線内ニP点ヲ取リY



A ニ平行ノ PM 線ヲ作ル其舊軸ニ準スル縦横線ヲ x, y
 ニ命シ新軸
 ニ準スル縦
 横線ヲ x', y'
 トスルキハ
 何レニ置モ可ナレ能其正負ヲ分辨スヘシ
 $AM = AB + BM$
 $PM = MM' + PM'$
 $x = a + x'$ 即チ
 $y = b + y'$ 即チ軸ヲ易
 ル式ナリ
 新原点 A' ハ
 舊軸ノ四隅

第九款

凡ソ正交二軸ノ
 方向ヲ易ヘ原点
 ト角ト俱ニ易カ
 ルキハ其線ノ式
 $x = x' \cos \alpha - y' \sin \alpha$
 $y = x' \sin \alpha + y' \cos \alpha$
 角ナリ
 α ハ X, X' 二軸ノ交



RC ヲ作
 RA ニ
 平行ノ B
 R ヲ作ル
 凡ハ即チ

$$AR = AC - CR = x$$

$$AC = AR \times \cos \alpha \quad XAX' = x \cos \alpha$$

$$CR = BR = PR \quad BPR = y \sin \alpha$$

$$x = x \cos \alpha - y \sin \alpha \quad \text{故}$$

$$PR = BR + PB = y, \quad \text{又}$$

$$BR = RC = AR \quad XAX' = x \sin \alpha$$

$$PB = PR \cos \alpha \quad BPR = y \cos \alpha$$

圖ノ如ク AX ト AY ヲ旧二軸トシ AX' ト AY' ヲ新二軸
 トス而シテ P 点ヲ設ケ旧軸ニ準スル縦横線ヲ x リトシ新
 軸ニ準スル縦横線ヲ x' リトス X, X' ノ角ヲ α トシ P 点
 ヨリ AX ノ垂線 PR 及ヒ AX' ノ垂線 $P'R'$ ヲ作リ又 P, R

イ
得
和
招
約
言
解
卷
一

天
堂
書
館

故

$$y = x \cos a + y' \cos a$$

若し軸ノ方向
ト原点俱ニ易
リ而ノ新原点
ノ縦横線ヲ a
トスルハ

$$x = a + x' \cos a - y' \sin a$$

$$y = b + x' \sin a + y' \cos a$$

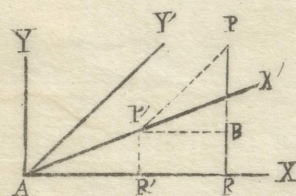
第十款

凡ツ正行ノ
二軸ヲ易テ
斜交ノ二軸
トスルハ
其線ノ式

$$x = x' \cos a + y' \cos a$$

$$y = x' \sin a + y' \sin a$$

此式ノ a a' ハ二新軸ノ
旧横軸ニ交ルノ二角ヲ
指ス



平行
メ P
作ル
式
アリ

$$AR = AR' + R'R = x,$$

$$AR' = AP' \cos XAX' = x' \cos a$$

$$R'R = P'B = P'P \cos B'P'P = y' \cos a$$

$$x = x' \cos a + y' \cos a$$

$$PR = BR + PB = y,$$

$$BR = P'R = AP' \sin XAX' = x' \sin a$$

$$PB = P'P \sin P'PB = y' \sin a$$

$$y = x' \sin a + y' \sin a$$

圖ノ如ク AX ト AY ヲ旧二軸トシ AX' ト AY' ヲ新二軸
トス XAX' ノ角ヲ命ノ a トシ XAY' ノ角ヲ a' ニ命シ任
意ニ P 点ヲ取リ AY ト平行ノ PR ヲ作リ AY' ト平行ノ
 $P'P'$ ヲ作リ又 P 点ヨリ AY' ト平行ノ $P'R$ ヲ作リ AX ト

若更二原点

ヲ易テ旧軸ニ

準スルノ縦横

線ヲカトス

ル
其式

$$x = a + x \cos \alpha + y \cos \alpha'$$

$$y = b + x_j a + y_j d$$

第十一款 凡ノ正交縱橫線

ニ準スル式ヲ易

于極角ノ距ニ準

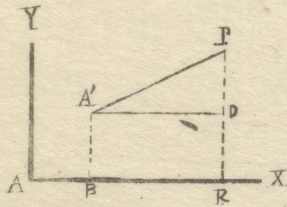
スル式トスルハ

$$x = Q + r_{\cos} v$$

$$y = b + r_2 v$$

式 中ノトヲ帶徑ト
シヒヲ帶徑ト横軸
トノ交角トス

圖ノ如ク AX ト AY ヲ旧二軸トシ A ヲ極点トシ AX ト



平行スル AD ヲ極角ノ起度線トス帶徑 AP ヲ命ス
ト
シ PAD ノ角ヲヒトシ旧軸ノ P 点ニ準スル縦横線ヲ x
リトシ A 点ノ縦横線ヲ a b トスルハ左ノ如キ式アリ

$$AR = AB + BR$$

$$BR = A'D = A'P \cos \angle PAD = r \cos \theta$$

$$x = a + r_{\cos} v$$

$$PR = DR + PD$$

$$PD = AP, PA'D = r, v$$

$$y = b + r \cdot v.$$

若シ亦
Aノ極
点移リ
テAト
同所ニ
在キハ
其式

$$x = r \cos \varphi \quad y = r \sin \varphi$$

一之三終

今中義長校

代微積拾級譯解卷一之四

米利堅羅密士撰

大日本

福田理軒 泉閣註
福田半 半譯解

代數幾何四

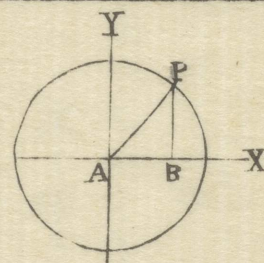
圓ヲ論ス

圓ハ平面ナリ其界ヒ心ヲ距テ俱ニ等ク其界ヒテ円周ト号ク界ヒト心ノ距線ハ半徑タリ

第一款

凡ク縦横線ノ
原点円心ニ在
ルハ半徑ナリ x リハ弧線
内ニ任置スル一点ノ縦横
片ハ其式
 $x^2 + y^2 = R^2$
線ナリ

圖ノ如クAヲ円心トシ任意ニ半徑ヲ取り規ヲ旋ラノ弧ヲ作ル弧内ノ諸点ハAヲ距リ俱ニ等ク其距線ヲRトシ



弧内ニ任意ノP点ヲ設

即

ク其縦横線ABトBPヲ x リトスルキハ幾何ノ理ニ準シ下式ヲ得ル

$$AB^2 + BP^2 = AP^2$$

$$x^2 + y^2 = R^2$$

弧線ノ横軸ニ交ル点 即 $x = \pm R$ ナリ故ニ弧線ノ横軸ニヲ定メント欲スレハ $y = 0$ 交ルハ二点アリ即チ原点ノ左右ニ在テ原点ヲ距リ俱ニ半徑ナリ又弧線ノ縦軸ニ交ル点ヲ定メント欲スルキハ $x = 0$ 即 $y = \pm R$

故ニ弧線ノ縦軸ニ交ル点モ亦ニアリ即チ原点ノ上下ニ在テ原点ヲ距リ俱ニ半徑トス

又弧分内ノ諸

凡ソ x ノ数毎ニ同キハ y ハ正負

点ヲ推盡サン

ノ二同数ヲ求メ得ヘシ其二点横軸

ト欲スル片ハ

ニ至ルノ弧線俱ニ相等

其式ヲ変ス

$$y = \pm \sqrt{R^2 - x^2}$$

シ設ル x 正タルキハ $x = 0$

$$y = \pm R$$

リ起リ y ノ

之ニ至リ而メ止ム若シ x ノ数半徑

數漸ク損シ

$$x = +R$$

$$y = 0$$

ヨリ大ナレハ y ハ虚ト為ル故ニ弧

線ノ正横軸

$$x = +R$$

之ヲ過ルヲ能ハス R 之ヲ過ルヲ

ニ交ルニハ

$$x = +R$$

負横軸ニ交ルモ亦 $x = -R$ 能ハサル也

第二款

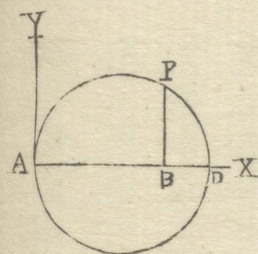
九ノ縦横線ノ

原点四周ニ在

ハ其式

$$y^2 = 2Rx - x^2$$

Rハ半徑ナリ x ヲハ四周
一点ノ縦横線トス



圖ノ如キ原点ハ四周Aニ在リ横軸ノAXハ円心ヲ過ク
又P点ヲ意ニ任シテ四周ニ取AXノ垂線PBヲ作リA
Bヲ ∞ ニ命シPBヲ引トシADヲ $2R$ トス
ルハ x ナリ又別ニAB
BDハ $2R$ トBDノ中点P
Bヲ求メ而メ式ヲ得ル
泉曰此解前二卷十丁ニ在
 $BP^2 = AB \times BD$
 $y^2 = x(2R - x) = 2Rx - x^2$
ス合ニ式款

若シ四周ノ横軸

此ノ如ク又

ニ交ル点ヲ定メ

$$y = 0$$

グノ即

又

ント欲スルハ

テ得ル

$$x(2R - x) = 0$$

$$x = 0$$

$$2R - x = 0$$

俱ニ合ス

$$x = 2R$$

故ニ四周ノ横軸ニ交ルハ二点アリ一ハ原点ニ在リ一ハ

原点ヲ距 $2R$ ニ等シ又四周ノ縦

横軸ニ交ル点ヲ定メントスレハ $x = 0$ 此ノ如クニ

故ニ四周ノ縦横軸ニ交ル点ハ惟一ニ即チ原点ナリ

第三款

九ノ原点何

$$x^2 + y^2 = R^2$$

Rハ半徑タリ x ヲハ円心

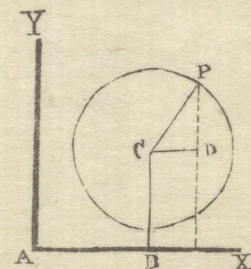
レノ所ニ在

点ノ縦横線タリ x ヲハ円

ニ其公式ハ

$$x^2 + y^2 = R^2$$

周任意一点ノ縦横線タリ



圖ノ如クCハ円心ナリ任意ニ原点Aヲ設ケAXトAYノ二軸ヲ作リ心点ノ縦横線ABトBCヲ命メXリトシ

円周任点ノ縦横線A

EトEPヲXリトス

半径CP及ヒAXニ

平行メCDヲ作レハ

$$CD = x - x'$$

$$PD = y - y'$$

$$CD^2 + PD^2 = CP^2$$

$$(x - x')^2 + (y - y')^2 = R^2$$

也式款即

設ル円周ノ

横軸ニ交ル

点ヲ定メニ

ト欲スレハ

$$y = 0$$

得ル

$$(x - x')^2 + y'^2 = R^2$$

$$(x - x')^2 = R^2 - y'^2$$

$$x - x' = \pm \sqrt{R^2 - y'^2}$$

$$x = x' \pm \sqrt{R^2 - y'^2}$$

若シYハ半径ヨリ大ナルキハ虚トナル故

ニ心点ノ横軸ヲ距リ半径ヨリ大ナル片ハ交ルヲ能ハス

又設ル円周ノ縦

軸ニ交ル点ヲ定

メントスル片ハ

$$x = 0$$

得ル

$$y = y' \pm \sqrt{R^2 - x'^2}$$

ルヲ能ハス前ニ同シ

第四款

九ノ円

ノ切線

式ハ

$$xx' + yy' = R^2$$

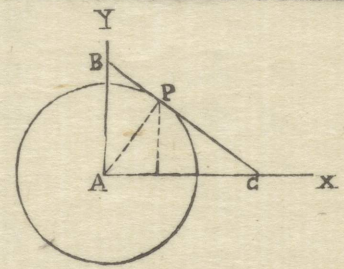
縦横線ナリ

Rハ半径ナリX'リハ切点ノ縦横線ナリXリハ切線内任意一点ノ

左圖ノ如クAハ原点ニノ円心ニ在リBCハ切線ナリP

ヲ切点トス其縦横線ヲX'リトス半径APヲ作ルニ原点

ヲ過キ亦切点ヲ過ク故一之三四款ノ附條ニ依リハ其式



○泉曰クハ線

變化ノ解ハ
筆算通書ノ
四卷ニ詳ス

$$y = \frac{dx}{dy} x$$

又切線ハ必ス切点ノ半径ニ正交ス
故一之三六款ノ附條ニ準ルハ設
ル所ノ

点ヲ過ル線ハ
他線ノ垂線タ
リ即チ其式ハ

$$y - y' = -\frac{1}{a'}(x - x')$$

而メハ線ノ理ニ準ル
ハ正切ハ餘弦ヲ以
テ正弦ヲ約スルモノ
ニ等シ

故

$$a' = \frac{y'}{x'}$$

$$-\frac{1}{a'} = -\frac{x'}{y'}$$

即チ切線ノ式ハ

$$y - y' = -\frac{x'}{y'}(x - x')$$

分母ヲ通衆シ
其項ヲ移シ置

$$xx' + yy' = x'^2 + y'^2$$

惟即チP点ノ四周ニ在

片ハ其縱横線必ス此卷

第一款ノ式ニ合ス即チ

$$xx' + yy' = R^2$$

故

$$xx' + yy' = R^2$$

本款ノ式トス

切線ヲ求ル式ハ別ニ公法アリ一切ノ曲線俱ニ之ヲ用ユ

圖ノ如クBC線ヲ作り曲線ノPP'ニ点ニ

交ルP点ノ縱横線ヲ

xx'トシP'点ノ縱横

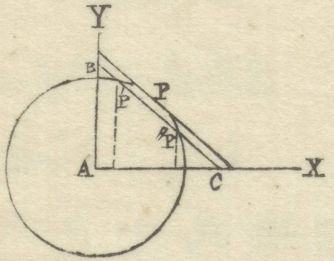
線ヲxx'トスレハ一

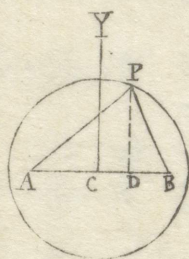
之三四款ノ式ニ同シ

故ニBC線ノ式ハ

$$y - y' = \frac{y' - y}{x' - x}(x - x')$$

一式トス
又PP'ノ二
点俱ニ曲線
内ニ在故ニ
兩式アリ





圖ノ如ク ABC ヲ三角形ノ底辺トシ其平分
点ヲ C トシ CY ハ AB ノ垂線ニシテ CB ト
正交ス三角形ノ項 P 点ノ縦横線 CD ト D
 P ラ X リトシ AC ト CB ト俱ニ \sphericalangle トス又

九ノ原点ノ三角形
底辺ノ平分点ニ在
片ハ其頂点ノ式
 $y^2 + x^2 = \frac{m}{2} - v$
vハ底辺ノ半ナリ m
ハ兩腰平方ノ和ナリ

第五款

$y=0$

即

$$\mathcal{X}\mathcal{X} = \mathbb{R}^2$$

$$x = \frac{R^2}{x} = AC$$

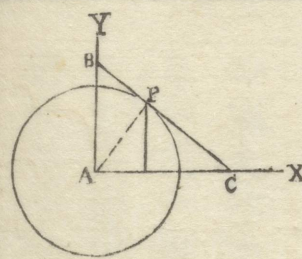
又切線ノ綴軸
ニ交ル点ヲ定
メントスレハ

$$x=0$$

即

$$Y \dot{Y} = \mathbb{R}^2$$

$$y = \frac{R^2}{y'} = AB$$



$$G^2 - 9 = R^2$$

二式
トス

$$x^2 - y^2 = R^2$$

三式
トス

三式ヲ以テ二式ヲ減シ

$$\dot{y}^2 - y^2 + \dot{x}^2 - x^2 = 0$$

即

$$(y+\tilde{y})(y-\tilde{y})+(x+\tilde{x})(x-\tilde{x})=0$$

$$\frac{y' - y}{x - x} = -\frac{x + x}{y + y} \quad \text{故}$$

故

此右數
ヲ以テ
一式ノ
中ニ易
テ得ル

$$y - \dot{y} = -\frac{\dot{x} + \ddot{x}}{\dot{y} + \ddot{y}}(x - \dot{x})$$

四式
卜

点ニ近ク片ハP'P'ノ二
 点漸々相近ク合ノ一線
 トナリB
 Cハ變ノ $x=x$
 $y=y$ 此ノ
 如ク
 $y-y=-\frac{x}{y}(x-x)$
 本式ト合ス
 又切線ノ横
 軸ニ交ル点
 ヲ定メント
 欲スル片ハ

A P T P

或

兩式

故

茲ニ於

Bノ二平

相併

テ此卷

方ノ和ヲ

得

一歟ノ

mトシ句

ル

式ヲ合

股ノ理ニ

考ノ則

チ知ル

準ルキハ

ニ

成セハ皆ナ歟ト合スルナリ

若シ原点ノ心

之ニ等シ若シCヲ以テ心トノ任意

ニ在キハ其円

ニ円周ヲ作りA Bノ二点ヨリ円周

線式ノ半径ハ

ノ任点ニ至テ二線ヲ作り三角形ヲ

成セハ皆ナ歟ト合スルナリ

$$PD^2 + AD^2 = AP^2$$

$$PD^2 + BD^2 = BP^2$$

$$y^2 + (x+a)^2 = AP^2$$

$$y^2 + (x+a)^2 = BP^2$$

$$2y^2 + 2x^2 + 2a^2 = AP^2 + BP^2 = m$$

$$y^2 + x^2 = \frac{m}{2} - a^2$$

第六款

凡ソ原点円

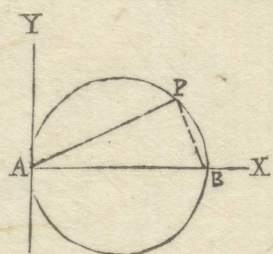
Rハ半径ナリrハ半径ナリ

周ニ在キ円

ひハ變角トス

ノ極式ハ

$$r = 2R \cos \phi$$



圖ノ如クAハ原点ニノ即チ極点ナリA X

ヲ角ノ一界トスA Pヲ半径トシP A Xノ

角ヲ變角トス而ノ此卷ノ二款二軸正交ノ

原点円周ニ在ル法ニ準レハ其式左ノ如シ

一式トス又一之三ノ十一款

兩式左右各

附條ニ準テ正交縱橫線ヲ易

自乘ノ得ル

$$y^2 = 2Rx + x^2$$

テ極角距トスレハ其式

$$x = r \cos \phi$$

$$y = r \sin \phi$$

所ノx²及

ヒ α ノ同数ヲ以テ一式中ノ α^2 及ヒ α ニ易ルキハ即チ
 項ヲ移シ易ヘ
 $r^2 \cos^2 \psi = 2Rr \cos \psi - r^2 \cos^2 \psi$
 $r^2 (\cos^2 \psi + \cos^2 \psi) = 2Rr \cos \psi$
 $2r^2 \cos^2 \psi = 2Rr \cos \psi$
 $r^2 \cos^2 \psi = Rr \cos \psi$
 $r \cos \psi = R$
 $r = 2R \cos \psi$
 即チ款ト合ス
 又三角法ニ準テ比例ヲ得ル
 $R : AB :: \cos BAP : AP$
 $1 : 2R :: \cos \psi : r$
 $r = 2R \cos \psi$
 故
 亦款ニ合ス
 $\psi = 0$
 此ノ如クナル
 $\cos \psi = 1$
 $r = 2R = AB$
 ヲハ ψ ヨリ起リ漸増ノ九
 十度ニ至ルキハ帯徑ハ B
 P A ノ半周線内ノ諸点ヲ

盡之ニ而
 $\psi = 0$
 至ル
 $\cos \psi = 0$
 得
 $r = 0$
 又
 $\psi = 270^\circ$
 之ヨ
 起
 $\psi = 360^\circ$
 之ニ至ルキハ帯
 徑ハ餘ノ半周諸
 点ヲ盡定スベシ

設例

四ノ半徑ヲ六尺トシ周圍ノ切線点ノ縱線ヲ四尺トス A C
 ト A B ノ兩線ヲ求ム 乃第四款ノ図形準ル次條亦同シ

前例ノ数ニ依テ角ノ切線ヲ求ム

四ノ半徑ヲ五尺トシ變角ヲ三十六度トス周圍ノ点ヨリ極
 ニ至ルノ帶徑ヲ求ム 乃第六款ノ図形ニ準
 ス以下二條之ニ同シ

四ノ半徑ヲ五尺トシ帶徑ヲ八尺トス變角ヲ求ム

不
得
才
多
言
解

卷一

明
天
堂
身
症

四ノ帶徑ヲ十六尺トス變角ハ四十二度ナリ半徑ヲ求ム

卷之一終

花井靜校

宇宙塾著述書目

弘本所
東京神田
明神下

別所萬青堂



筆算通書

六本

加減乗除より分數術、諸比例、開平開立、諸衆方の求根術、幾何代數、測學諸題、不定數法、微分、積分、總て萬邦普通の筆算法々と新考の捷術を詳示す

代微積拾級譯解

筆算

中本

十冊

此書ハ天文究理の教頭米利堅ロラエス氏の著述「エナリチカル・ゼノトリー」と号シ千八百十二年の原書を譯上海譯本の異同を辨シ詳註を如卷設問答式の明解を附録一代數微分積分を明しふ筆算の原理を示シ

測量新式
筆算

中本

十冊

來港の英人傳習の技を専らと工學諸科の測量法を解き「ナチュール

宇留塾著述書目

明天堂塾藏

ロガリの両八線表及び其他の諸表を挙げ其原理を明解と

諸流全傳 珠算 中本 二冊
圖解捷徑 算法指南 合卷

初算頭二より諸相場割比例式利足等地方求積開平開立勾股容術
天元點竄諸約翦管招差累積綴術求心重力の鉤題圖理求表の諸術と
詳解一本朝名家の秘決を挙げ諸流普通の算學書なり

算學速成 珠算 中本 五冊

測量集成 同 十五卷

談天 六冊

器械學算梯 筆算 五本

順天堂算譜 珠算 二卷

福田半著

明治四辛未年十月
官許

大坂

河内屋喜兵衛
敦賀屋九兵衛

發兌書肆

東京

須原屋茂兵衛
須原屋伊兵衛
須原屋新兵衛
山城屋佐兵衛
和泉屋吉兵衛
和泉屋市兵衛
岡田屋嘉七
和泉屋金右衛門
紀伊屋源兵衛
英屋文藏
鳴屋平七

